

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	高齢者入浴券助成事業	担当課		担当グループ		作成者（職・氏名）	
		3	住民課	33	福祉グループ	主事・曾根良介	

実施計画年度（期間）
R 6 年度（ R6 ～ R8 ）

事業評価対象年度
R 5 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体		会計区分	予算科目					
	事業終了年度	令和 7 年度				款	項	目	事業1	事業2	性別経費
			1	町	1	一般	03	01	03	0377	001 20
事業の性質	法令に基づかない自主的事業										条例等の有無 無
根拠法令・例規計画等											
総合計画	基本目標	2	健やかで安心なあつま								
	基本施策	6	高齢者福祉・介護の充実								
	施策項目	63	福祉・介護サービスの充実								
	復旧・復興計画	99	その他								
	総合戦略	99	その他								
	厚真町強靱化計画	9999	その他								
政策展開方針（R2～R6）	大項目	9	その他								
	中項目	9	その他								
	施策項目	9999	その他								

2 事業概要（Plan）

事業の目的	高齢者に無料入浴券を交付し、高齢者の生きがいと社会参加を促進することを目的とする。
事業の内容（手段・方法等）	1 入浴券助成事業 ① 入浴利用助成：無料入浴券を交付 ② 1人につき年間10枚を交付し、イベントに参加した場合2枚を上限に追加交付
対 象	70歳以上の高齢者
成果目標	高齢者の生きがいづくりや健康の維持増進

3 実施結果（Do）

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		H28（前期1）	H29（前期2）	H30（前期3）	R1（前期4）	R2（前期5）	R3（後期1）	R4（後期2）	R5（後期3）	R6（後期4）	R7（後期5）
		決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算	決算	決算	予算	計画
事業費							1,094	1,322	1,445	1,258	
特定財源	国支出金										
	道支出金										
	町債										
	その他										
一般財源							1,094	1,322	1,445	1,258	
人件費（※4,000・時間給）							1,242	1,242	1,242	1,242	
積算根拠							需用費（消耗品費、印刷製本費）74 扶助費1,020	需用費（消耗品費、印刷製本費）33 扶助費1,289	需用費（消耗品費、印刷製本費）41 扶助費1404	需用費（消耗品費、印刷製本費）39 扶助費1219	
主な年次計画（取組）							高齢者の社会参加促進	高齢者の社会参加促進	高齢者の社会参加促進	高齢者の社会参加促進	
ヒアリング 指示事項 ※企画調整G記入欄											

② 実績・成果

指 標 名 称 （ 前 期 ）			H28（前期1）		H29（前期2）		H30（前期3）		R1（前期4）		R2（前期5）		R3（後期1）		R4（後期2）		R5（後期3）		R6（後期4）		R7（後期5）	
			数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	申請者数／対象者数	目 標	1,406	人	1,418	人	1,400	人	1,402	人	1,382	人	1,380	人	1,375	人	1,350	人	1,369	人	1,355	人
		実 績	722	人	851	人	652	人	794	人	664	人	654	人	685	人	631	人	695	人		人
		達成度	51.4	%	60.0	%	46.6	%	56.6	%	48.0	%	47.4	%	49.8	%	46.7	%	50.8	%	0.0	%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																					
主な成果指標	利用枚数／交付枚数	目 標	4,307	枚	4,500	枚	4,476	枚	5,432	枚	6,558	枚	4,315	枚	5,250	枚	5,242	枚		枚		枚
		実 績	3,008	枚	3,000	枚	2,911	枚	2,805	枚	2,096	枚	1,542	枚	2,431	枚	2,529	枚		枚		枚
		達成度	69.8	%	66.7	%	65.0	%	51.6	%	32.0	%	35.7	%	46.3	%	48.2	%	-	%	-	%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する																					

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説 明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か？	A	外出の機会が少ない高齢者の方が、こぶしの湯あつまに入浴することで、地域交流や憩いの場となっている。また、全ての70歳以上の高齢者を対象としており、生きがいづくりや健康の維持増進につながっている。
有効性	期待された成果が得られたか？	B	この事業を利用している方がある程度固定化されてきており、交付枚数全てを使う方は限られている。新規で利用される方の増加を図る方策が必要である。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か？	A	年度当初に10枚交付。残りの2枚は高齢者大学等の行事に参加する際に交付することとしている。 入浴券については、実際に使用された実績により清算しており、経費としては適正である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
理由	生きがいづくりや健康の維持増進につながっており、健康を維持することで介護予防にもつながるということから事業効果はあるものと考え継続すべきである。				
課題および改善提案	交付方法を含めて利用者が増えるような取組の検討が必要。 また、申請・交付方法について回数券の配布に加えマイナンバーカードを利用して、自動更新・交付ができる取り組みを検討する (利便性の向上及び業務の合理化)。				

※予算・サービスは「継続 (拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持	意見	利用券の交付は高齢者、行政側双方の負担が大きい。今後DXによる利用効率化を図る必要性がある。経済部局と連携し、該当年齢以上の高齢者を無料にする、といった施策への代替も含め今後検討が必要。
----	-----------	------	-----------	-----	------	----	---

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 7 年 1 月 27 日	予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (拡大)	方向性	現状維持
付帯意見 (全体意見)	○行政だけに任せるのではなく、住民側も参画する必要がある、官民が連携してより良い事業にできる可能性を有する事業である。 ▶以上から、予算・方向性を現状維持とし、上記観点からサービス拡大のうえ事業を継続することが望ましい。						
その他意見 (個別意見)	○こぶしの湯の利用率向上にもつながりうる事業であり、産業面での好循環も生まれる可能性を有している事業である。 ○行政と民間事業者、住民など、多様な主体がそれぞれの役割を担い、他のサービスを組み合わせることに、様々な効果に波及することが期待できる。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 7 年 3 月 6 日
○㈱あつまスタンプ会 (こぶしの湯) や、介護予防活動を行う団体等との連携等により、利用者の増加や満足度向上が図られるよう検討します。	